

基礎編 その7

今回お届けする英文記事は、3月11日東日本を襲った大震災以来、連日紙面にあふれる震災後の復旧と福島原発の重大事故関連の記事です。この際、まとめて地震や津波、原発についての記事を読んで、そこに使われている語句やフレーズなどをいっきに学びましょう。これまで基礎編で挙げた読み方のポイントを確認するつもりで記事を読んでください。

●地震発生

例文1

A strong quake **with a preliminary magnitude of 7.4** jolted on Thursday evening Japan's Miyagi Prefecture and its vicinity but no major troubles were reported at nuclear facilities in the areas devastated by the March 11 earthquake, including the crippled Fukushima Daiichi power station.

ヒント：地震発生の第一報で、紙面に出る記事はほぼ決まって上のような文です。この記事は3月11日の本震災の後に襲った余震の時の記事です。冒頭に必ず地震のマグニチュードが with～(太字)のように主語と一緒に付いています。

語い：quake 地震、preliminary 速報値、magnitude マグニチュード、jolted 揺らした、vicinity 周辺、nuclear facilities 核施設、devastated 被災した、crippled 稼動不能になった

前から順に訳すと：マグニチュード速報値7.4の強い地震が、木曜日夜、日本の宮城県とその周辺を揺らした。しかし大きな被害は報告されなかった、3月11日の地震で被災した地域にある各施設や、稼動不能になった福島第一原子力発電所でも。